

多奈川港地区におけるコミュニティタイムライン作成について

◆ 經緯

多奈川地域にて、大規模災害時における、避難のタイミング等を説明する機会を得た。その際に「自助」「共助」の重要性を説明し、当地区でのタイムライン作成に至った。

◆ 内容

港地区において、コミュニティタイムラインを作成した。自主防災組織、民生・児童委員が連携し、講習会、まち歩き及びワークショップを開催した。

◆ 効果

- ・自主防災組織、民生・児童委員等の団体がそれぞれ意見を交換することができた。
- ・各団体で住民の避難にかかる時間等を確認し、誰ひとり取り残さない防災について協議できた。
- ・民生・児童委員から個別避難計画について、説明する場を開くので、話をしてほしいと意見があった。

[illegible]